



来夏 参院選
比例5 議席確保へ

中国地方は 白川よう子氏

5日、岡山駅前であつたえる白川氏

幸せ諦めなくていい社会を

来年夏に行われる参議院選挙で、日本共産党は比例で全国650万票・10%以上の獲得で5議席確保を目指してがんばります。中国地方を含む西日本17県を活動地域にするのは白川よう子さん（元香川県議、党中央委員）。

12月5日には、岡山市で大平よしのぶ元衆議院議員とともに白川氏は「生きること、幸せになることを諦めなくてもいい社会実現へ力を合わせよう」「私たちの暮らしは政治とつながっている。議員や政党を動かすのはみなさんの声だ」と力強く述べました。大平氏も三人三脚でがんばる決意をうたえました。

TOPICS1

島根原発再稼働、断固許さない!

12月7日、中国電力は島根原発2号機の再稼働を強行。大平氏は、同日松江駅前で「原発ゼロをめざす島根の会」が主催する再稼働に抗議する集会に参加しました。「県民同意も実効性ある避難計画も核のゴミの処理方法もない。原発ではなく省エネ・再エネで安心安全の日本と島根の実現へ県民の皆さんと力を合わせてがんばる」と決意を語りました。



7日、抗議集会に参加する
党の仲間とともに

11月18日には、党島根県地方議員団の皆さんらとともに上京し、政府交渉を行いました。経済産業省、原子力規制庁の担当者に対し県民の怒りと不安を代弁し、島根原発2号機の再稼働中止を強く求めました。



11月18日、国会内にて

TOPICS2

障害者の仕事や 学びの場を守りたい

11月、大平氏は障害者施設に続けて訪れ、利用者の活動を見学するとともに施設管理者の方から事業所運営の実態、国政への要望などを伺いました。

13日には就労継続支援B型事業所などを運営する「可部つちくれの家」へ、29日には高等部を卒業後の教育の機会を保障する「まなびキャンパス」へ。

大平氏は「利用者の誇りを持っていきいきと働き、楽しく学ぶ姿に感動しました。それを支える事業所と職員さんの頑張りにもこたえるためにも報酬の抜本的な引き上げが急務です」と語りました。

11月29日、
まなびキャンパス
(広島市西区)



11月13日、
可部つちくれの家
(広島市安佐北区)

